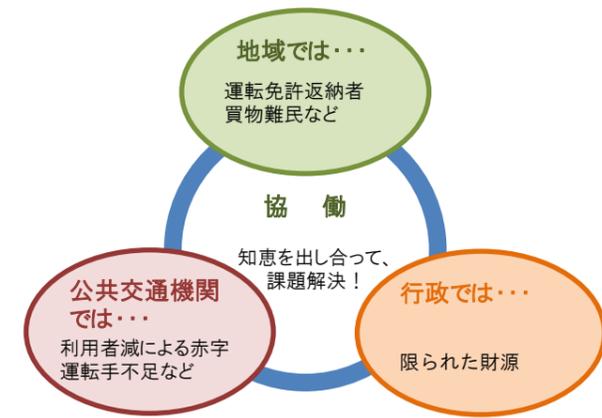
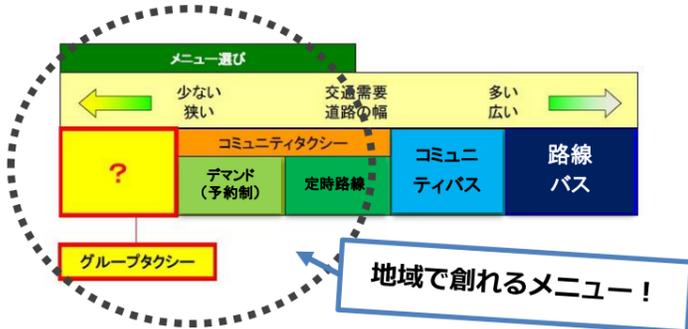


【公共交通を取り巻く課題。ともに取り組みましょう！】



【地域の話し合いで生まれたグループタクシー】



山口市の主な支援制度

- 相乗りするほどお得なグループタクシー利用券...65歳以上で最寄りの公共交通機関から1km(75歳以上700m)以上離れている方に距離に応じて300円、500円、700円の利用券を年間60枚交付
- 福祉タクシー利用券...障害者手帳をお持ちの方に300円の利用券を年間40枚または80枚交付
- おでかけサポートタクシー券...要支援・要介護認定を受けている方、介護予防・日常生活支援サービス事業対象者に300円の利用券を年間40枚交付(グループタクシー・福祉タクシー・おでかけサポートタクシー利用券の重複申請は不可)
- 福祉優待バス乗車証...70歳以上、市内の路線バスに限り乗車100円
- サイクル・アンド・ライド、パーク・アンド・ライド(乗り換え専用の駐輪場・駐車場)
- ノーマイカーデー参加登録者への毎月第3金曜日のバス半額割引、協賛店舗での特典サービス
- バス停上屋設置の補助金
補助対象経費の2/3以内、
補助限度額70万円

詳細は、山口市交通政策課までお問い合わせください!

創ろう!守ろう!みんなの公共交通 地域検討会 かわら版

阿知須 編
平成29年5月発行



参加者アンケートより<11名回答>

Q地域検討会への参加により公共交通への理解が深まりましたか?

- ①深まった 9人
- ②どちらともいえない 2人
- ③深まらなかった 0人

Q公共交通を利用しようと思えますか?

- ①引き続き利用する 0人
- ②これからは利用する 6人
- ③わからない 5人
- ④利用しない 0人

Q公共交通を守る必要を感じましたか?

- ①感じた 8人
- ②どちらともいえない 2人
- ③感じない 0人

Q地域での話し合いの必要性を感じましたか?

- ①感じた 10人
- ②どちらともいえない 0人
- ③感じない 1人

【感想(抜粋)】

- 参加者が少ない→他の集会和合同で行う。
- 宇部線のスピードが遅い。バスと鉄道の時刻が同じ様です。間隔を上手にお願いしたい。
- できるだけ早く、自家用自動車利用をやめたい。
- もっと参加者が増えたらGood!

今後に向けて地域の話し合いを応援します!
詳細は、交通政策課にご相談ください。協働推進課とも連携し、専門家のサポートも受けられるように調整します。

山口市では、市民が将来に不安を感じることなく、安心して生活できるよう、マイカーに頼り過ぎず、移動手段の軸足を公共交通へ転換していくために、まちづくりや地域づくりなど総合的な観点から山口市では「山口市市民交通計画」を平成19年に策定し取り組んできました。

その中で、交通弱者のためになんとかしたいという思いから、コミュニティタクシーの運営組織(小鯖・宮野・嘉川・小郡・秋穂・佐山・阿知須・島地)が立ち上がり、地域が主体となり、地域のニーズにあったコミュニティ交通が整えられました。また、更なる交通弱者への対策としてグループタクシー(相乗り)の仕組みも新設しました。あわせて、都市核、地域核間を結ぶバスや鉄道についても維持強化を図ってきたところです。

しかしながら、鉄道や路線バス等の利用者の減少や、運転手の不足により、路線の廃止や減便につながっている状況です。一方で、これからの高齢社会の中での運転免許返納者が増えるなか、ますます困る人が増えると推測されます。また、移動手段を持たない若者や通勤者にとっても、公共交通は移動手段として必要不可欠なものです。

この現状を打破し、「クルマがないと生活できない山口」から「クルマがなくても生活できる山口」に転換し、安心して住み続けられる、クルマに頼り過ぎない交通まちづくりを目指して、「第二次山口市市民交通計画」を平成29年度中に策定することとしています。

そこで、地域の皆さんに現状を理解していただくとともに、地域の事情やニーズをお伺いし、より良い交通のあり方について、一緒に考えていくため、市内を10ブロックに分けて、去る3月に地域検討会を開催しました。

3月21日（火）阿知須地域交流センターにおいて、12名の参加のもと、地域検討会を開催しました。

最初に山口市市民交通計画についてご説明し、現状の課題をわかちあい、専門家の意見を頂き、課題を解決するアイデアを出し合いました。その概要をお伝えします。

この検討会を契機として、各地域の機運が高まり、それぞれの地域にあった地域公共交通を検討するための、二回目、三回目の勉強会につなげていきましょう。

■現状をわかちあう！■

➤ JRの不便さ

阿知須駅の跨線橋はイヤだ
跨線橋は、車イスの方は不可
宇部線と山口線の一本化は可能か？
高齢者には、乗り方・支払い方法等
難しい
運行時間を延ばしてほしい

➤ コミタクの不便さ

ベンチが無いところがある
停留所を増やしてほしい
利用者は女性が多い。男性は？
歩行難しいと停留所まで出られない
時刻が自分の都合に合わない
他地区（佐山）への乗り入れを
前山地区にもコミタク運行を
路線変更の申請手続きの簡素化を
市の補助金の増額を

➤ バスの不便さ

大型バスは無駄。小さいバスで
足りるのでは？

➤ 一般のタクシー

阿知須でイベントが有るとき、タクシー
の利用ができない

➤ グループタクシー

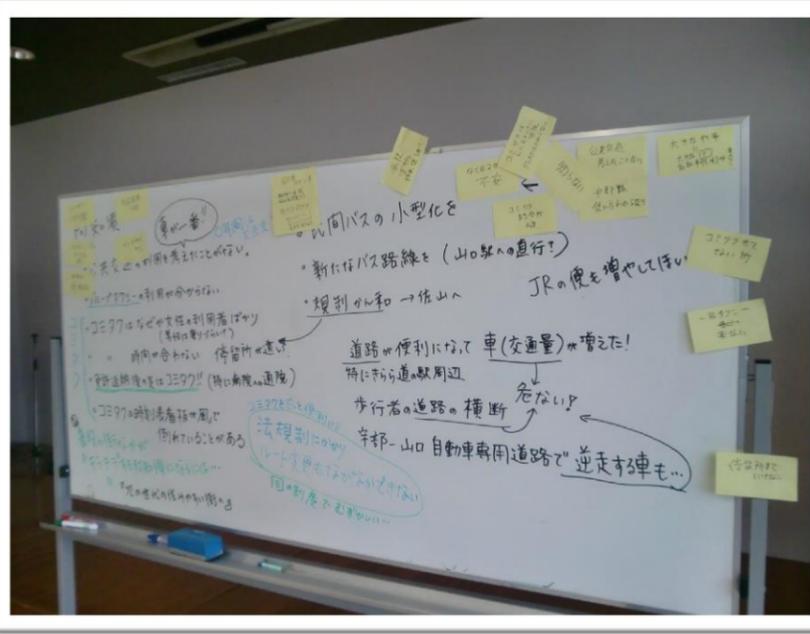
利用方法が分からない

➤ 車が一番！！

公共交通に頼るのは不安。いつなくなる
のか不明

➤ 交通マナーの悪さ

さら道路の交通量が多く、飛ばし過ぎ。
老人の横断多い。わが道のごとく、好き
に渡っている。横断歩道は関係なし。
高齢者の交通安全教育を、どう考えてお
られるか。認知症も多くなっている。



交通安全を真剣に考えることは
とっても重要なこと
(免許返納要件厳しくなります)

ロードショップから、駅前へ
の回帰は時代の流れ
なぜか...
車だけに頼れない人が増
えてきたから

阿知須はとっても豊かな文化が
あるところ
お出かけしたくなるまちづくりを！



大阪大学教授 森栗茂一氏



できたらいいな...

市電の開発！
(トローリーバスでも良いかも)

白タク行為の規制緩和

自動運転での運行を考える

阿知須駅中心にバスの循環線をつくる

グループタクシーの距離要件の緩和

■利用促進アイデア■

交通安全をテーマに何かできるかも！

老人向けの交通安全寸劇の実施

運転免許返納施策の実施

コミタクの停留所の上屋設置

コミタク乗車体験会の開催

公共交通を利用するツアーの実施

佐山地域(由良)と阿知須地域の
コミタク運行を可能にする



クルマがないと
生活できない山口から
クルマがなくても
生活できる山口へ

基幹交通(バス、鉄道)の
利用促進の啓発！
地域ニーズの把握！
地域での話し合い！

～誰もが安心して暮らせるための交通まちづくり～

■公共交通は社会のインフラ

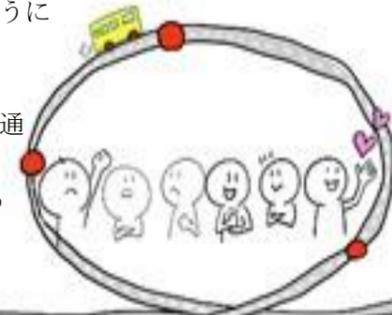
- ・公共交通を考えることは、まちづくりを考えること
- ・誰もが自分の意思で移動できるように
(高齢者・子育て世代・高校生)

■集い歩くことが賑わいに

- ・生活に必要な施設をつなぐ公共交通ネットワーク
- ・多少の不便も「健康増進」と割り切る

■こどもの教育

- ・こどもの社会との関わりが増す



みんなで創る
持続できる
地域の交通！

